



わきゃあまみ⑪

奄美の樹木の葉っぱ

奄美にはいろいろな種類の樹木があります。今回は、この樹木について知るために、奄美を代表する樹木や身近にある樹木の「葉」を集めてみました。葉は、種類ごとにさまざまな色や形をしています。それぞれの葉の特徴をよく見て、樹木の種類を区別してみましょう。区別できるようになれば、きっとその樹木が好きになると思います。また、ここについていない他の樹木の葉もよく見て、葉の特徴やその樹木の役割について調べてみましょう。そうやって調べることで、樹木とわたしたち人間とのかかわりを考えてほしいと思います。

2012年3月発行

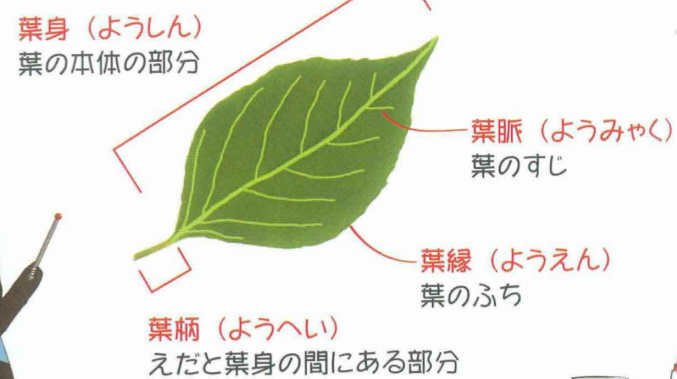
制作
奄美自然体験活動推進協議会
環境省奄美野生生物保護センター

協力
奄美マングースパスターズ
作田裕恒
藤本勝典
山下弘

葉ってなんだろう？

樹木は、葉で吸った太陽の光を利用して栄養を作っています。葉は栄養を作るための工場のようなところです。葉の形や大きさは、光をより多くあびるために、樹木の種類ごとにちがっています。つまり、葉を見ればその樹木の種類を見分けることができます。葉から樹木の種類を見分けるために、葉の基本を学んでいきましょう。

★葉のそれぞれの部分の名前



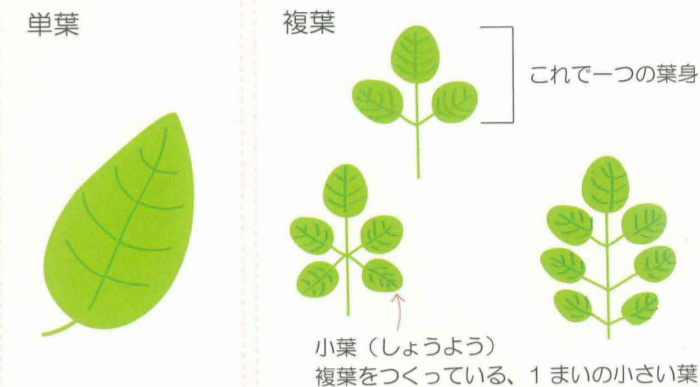
広葉樹 (こうようじゅ) と針葉樹 (しんようじゅ)

広がった葉をもつ樹木 (広葉樹) と、はりのようにとがった葉をもつ樹木 (針葉樹) の2しゅるいがあります。



葉のまい散

葉身が一つのもの (単葉: たんよう) といくつかに分かれているもの (複葉: ふくよう) があります。



葉の形

細長いものやはばの広いもの、切れこみが入っているものなど、さまざまです。



葉のならびかた

くきの一つの場所に何まいの葉がついているかによってくべつされます。



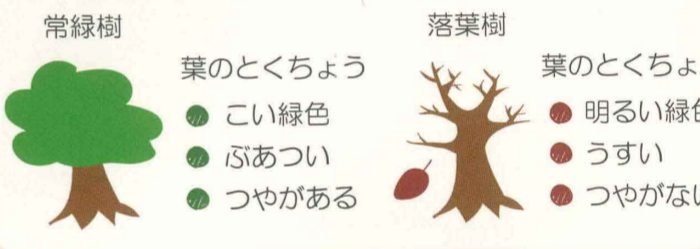
葉のふち

ふちにのこぎりのようなギザギザ (鋸歯: きょし) がある葉と、ギザギザのない葉があります。



常緑樹 (じょうりよくじゅ) と落葉樹 (らくようじゅ)

葉が一年中ついている樹木 (常緑樹) と、冬に葉が落ちる樹木 (落葉樹) があります。



表のみかた

葉の形	写真の番号		名前		
	由来 / 外来	生育場所	木の高さ	樹木のとくちよう・その他	

何の木の葉っぱかな？
調べてみよう！

マークの意味

- 単葉 (Simple leaf)
- 複葉 (Compound leaf)
- 互生 (Alternate)
- 対生 (Opposite)
- 輪生 (Whorled)
- 鋸歯あり (Serrated)
- 鋸歯なし (Smooth)
- 常緑樹 (Evergreen)
- 落葉樹 (Deciduous)

由来 / 外来

- 由来 (ざいらい): もともと奄美に生育しているもの
- 外来 (がいらい): もともと奄美になく、人がもってきたもの

木の高さ

- 低木 (ていぼく): 高さが数メートルまで
- 小高木 (しょうこうぼく): 数メートルから10メートルまで
- 高木 (こうぼく): 10メートルより高い

	13	モンパノキ	在来 海岸 低木	葉は魚をとるとき毒(どく)として使われていた。木の形がきれいなので庭木としてもよく利用される。
	14	アカミズキ	在来 林のふち 小高木	奄美大島より南に生育する。木の皮が赤茶色なのでこの名前がついた。花はいいにおいがし、多くの虫が集まる。
	15	アダン	在来 海岸 小高木	奄美の海岸を代表する木。葉にはトゲがあるが、与論島にはトゲのないものもある。オレンジ色の実をつける。
	16	オオハマボウ	在来 海岸 小高木	海岸のすな地に生える。風やすな、しおをふせく天然(てんねん)の堤防(ていぼう)。黄色の丸い花をさかせる。
	17	クスノハカエデ	在来 林の中 高木	奄美では、沖永良部島と与論島にしか生育していない。日本にあるカエデの中でゆいゆいの常緑樹。
	18	リュウキュウヤツデ	在来 林の中 低木	葉は大きな手のひらのような形をしている。手の指にあたる部分は七つまたは九つであることが多い。
	19	サキシマフヨウ	在来 林のふち 低木	秋になると白やあわいピンク色の大きな花をさかせる。さきしまとは沖繩(おきなわ)にある島じまの名前。
	20	オキナワウラジロガシ	在来 林の中 高木	徳島の森に多い。日本でいちばん大きなドングリがある。木が大きくなると、根が板のようになる。
	21	リュウキュウハナイカダ	在来 林の中 低木	葉の上に花をさかせるふしぎな木。メバナは葉の上で実になる。奄美と沖繩だけにある固有(こゆう)の植物。
	22	イジュ	在来 林の中 高木	みきは高倉(たかくら)の柱になり、皮は魚をとるとき毒(どく)として使われていた。白い花をさかせる。
	23	アマシバ	在来 林の中 低木	若葉(わかば)をかむとあまいことからこの名前がついた。3月ごろに真っ白いふわふわした花をさかせる。
	24	リュウキュウマツ	在来 海岸~林の中 高木	針葉樹なので見分けやすい。木がかわたてしまつてついでに虫の被害(ひがい)が各地に広がり、問題となっている。
	25	ナギ	在来 林の中 高木	木の皮はなめらかで、まだらにはがれる。庭木や神社の神木としてよく植えられる。
	26	モクマオウ	外来 - 高木	風やしおをふせくため海岸に植えられている。在来の植物の生育をおびやかすため問題となっている。
	27	テイゴ	外来 - 高木	もともとインドやマレー半島に生育する木。人里近くに植えられることが多い。春から夏に赤い花をさかせる。
	28	アカギ	外来 - 高木	校庭や道ばたなどによく植えられている。山の中では、在来の植物の生育をおびやかすため問題となっている。
	29	ハゼノキ	在来 林のふち 小高木	冬になると赤く紅葉(こうよう)する。葉やみこにさわるとかぶれることがあるので注意がひつよう。
	30	ギンネム	外来 - 小高木	成長が早くよくふえるのでたくさん植えられたが、在来の植物の生育をおびやかすため問題となっている。
	1	オヒルギ	在来 河口(かこう) 高木	マングローブを代表する木。川と海のさかいにある干潟(ひがた)に生育し、人のひざのように曲がった根をもつ。
	2	ヤマモモ	在来 林の中 高木	赤くじゅくした実は食べるとおいしい。街路樹(がいろじゅ)として町の中に植えられることもある。
	3	シャリンバイ	在来 海岸~林の中 低木	葉が車輪(しゃりん)のようにまると出る。庭木としてよく植えられる。大島つむぎをそめるときにも使われる。
	4	サクラツツジ	在来 林のふち 低木	奄美にあるツツジの中でいちばん早く、1月ごろに花がさく。花はうすいピンク色。みきはてこぼしている。
	5	スタジイ	在来 林の中 高木	奄美の森を代表する木。ドングリはアマミノクロウサギなど多くの生きもののお食(た)べ物となっている。
	6	ガジュマル	在来 海岸~林の中 高木	他の木や岩などからみつき、ふくざつな形になって育つ。校庭などにも植えられ、私たちになじみのある木。
	7	ワダツミノキ	在来 林の中 小高木	奄美大島の和和村で十数本しか見つかっていないめずらしい木。名前は元ちとせさんの曲にちなみにつけられた。
	8	タブノキ	在来 林の中 高木	常緑広葉樹を代表する木の一つ。春先に出る若葉(わかば)は赤色をしていて、森の中でよく目立つ。
	9	ゴモジュ	在来 林のふち 低木	庭木としてよく使われる。春先に白い小さな花が集まるようにしてさく。花はやがて赤い実になる。
	10	ノボタン	在来 林のふち 低木	葉脈(かた)が入っているのがとくちようで見分けやすい。梅雨(つゆ)時にむらさき色の大きな花をさかせる。
	11	クサトバラ	在来 海岸 低木	花は手を広げたような形をしていて、はじめ白色、のちに黄色になる。
	12	フクギ	外来 - 高木	風やしおをふせくため家のまわりに植えられることが多い。火に強いので火事が広がるのをふせく役わりもある。

参考文献 日本野生植物本Ⅱ・Ⅰ(平凡社 著者:佐竹義晴 原寛 日理復次 高成忠夫) 葉で見わかる樹木増補改訂版(小学館 著者:林得之) 原寸図鑑葉っぱでおぼえる樹木(柏書房 監修者:濱野尚泰) 原寸図鑑葉っぱでおぼえる樹木・2(柏書房 監修者:濱野尚泰 石井英美) 琉球如・野山の花(南方新社 著者:片野田逸郎) 山溪ハンディ図鑑 3 樹に咲く花 藤井花子(山と溪谷社 写真:茂木透 監修:高橋秀男 藤山輝夫) 山溪ハンディ図鑑 4 樹に咲く花 藤井花子(山と溪谷社 写真:茂木透 監修:高橋秀男 藤山輝夫) 山溪ハンディ図鑑 5 樹に咲く花 合弁花・単子葉・裸子植物(山と溪谷社 写真:茂木透 監修:高橋秀男 藤山輝夫) 琉球植物誌(追加・訂正)(沖縄生物教育研究会 著者:初島住彦) 鹿児島県の絶滅のおそれのある野生動物植物(企画/編集:鹿児島県環境生活部環境保護課) 奄美の絶滅危惧植物(南方新社 著者:山下弘)

わきゃあまみ ⑪ 奄美の樹木の葉っぱ

7. ワタツミノキ (50%)
たまごのような形をしていて
先がとがる。



4. サクラツツジ (100%)
葉柄には長い毛が生えている。

- 写真の番号・樹木の名前
- 実物に対する写真の大きさ
- 葉のとくちょう



1. オヒルギ (100%)
あつくてこい緑色をしている。



2. ヤマモモ (100%)
ふちに鋸歯のあるものもある。



5. スダジイ (100%)
ふちに鋸歯のあるものもある。



6. ガジュマル (100%)
先は短くとがる。

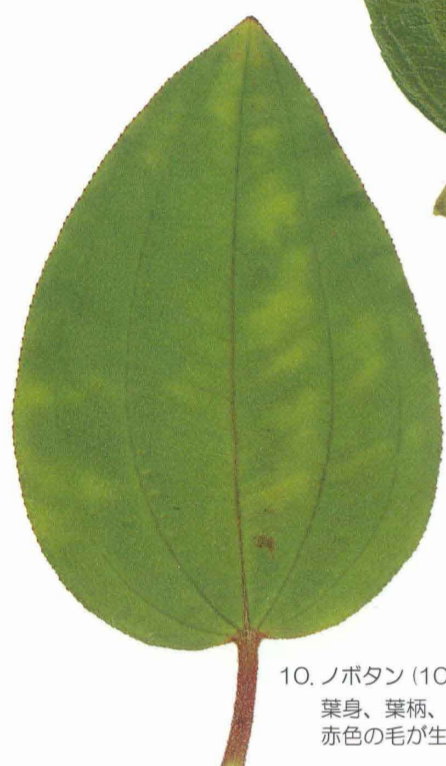


7. ワタツミノキ (50%)
たまごのような形をしていて
先がとがる。



8. タブノキ (100%)
あつくてこい緑色をしている。

うら↓
白色をおびた緑色。



10. ノボタン (100%)
葉身、葉柄、えだには赤色の毛が生えている。



9. ゴモジュ (100%)
ふちに鋸歯のあるものもある。葉柄は赤みをおびている。



11. クサトベラ (80%)
やわらかく、えだの先にたばになって生える。



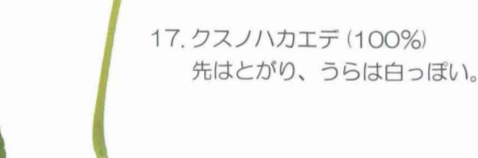
4. サクラツツジ (100%)
輪生のももある。葉柄には長い毛が生えている。



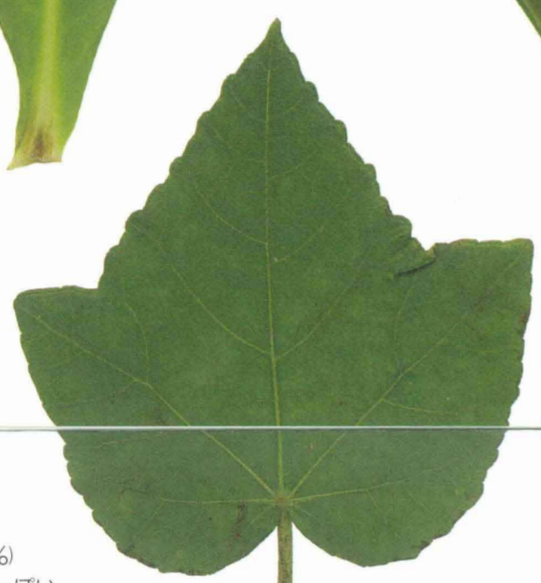
12. フクギ (80%)
た円形で、あつくかたい。



13. モンバナノキ (80%)
わか葉にはこまかな毛がたくさん生えていて、銀白色に見える。



17. クスノハカエデ (100%)
先はとがり、うらは白っぽい。



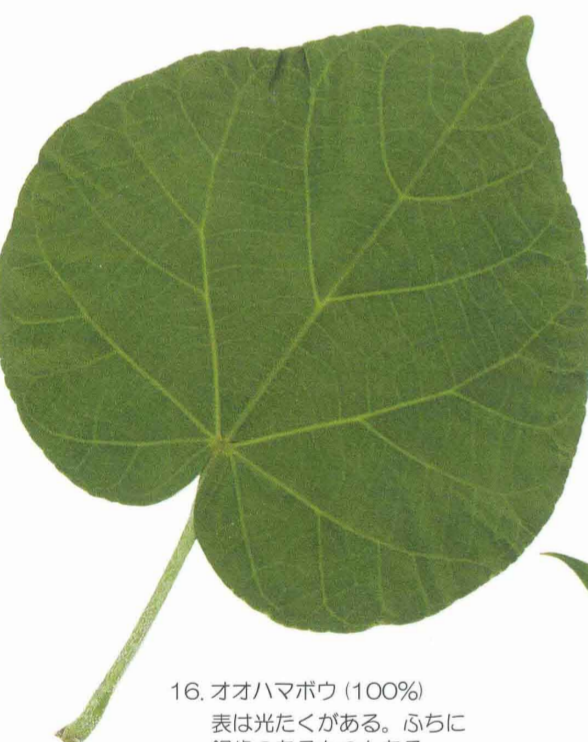
19. サキシマフヨウ (50%)
葉身と葉柄には毛が生えている。



20. オキナウラジロガシ (100%)
ふちは全縁のものもある。



22. イジュ (80%)
えだ先に集まって生える。ふちは全縁のものもある。



16. オオハマボウ (100%)
表は光たくがある。ふちに鋸歯のあるものもある。



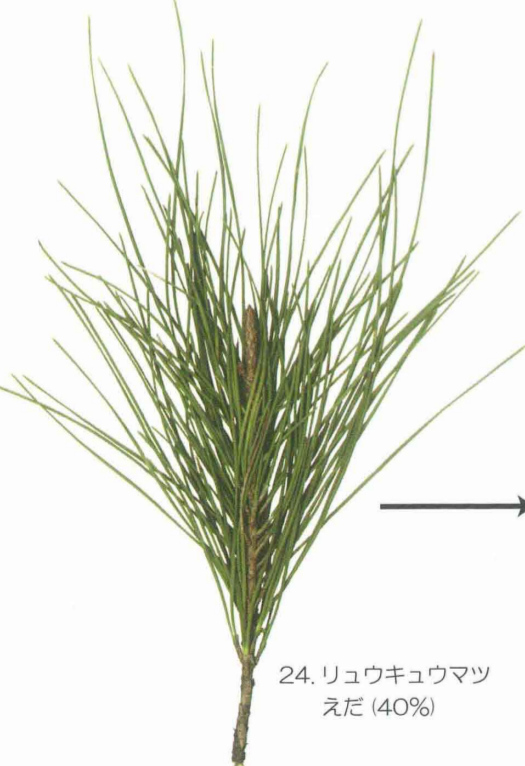
18. リュウキュウヤツデ (50%)
大きく、ふかい切れこみがある。



21. リュウキュウハナイカダ (100%)
鋸歯はトゲの形をしており、やわらかい。



23. アマシバ (100%)
光たくがあり、先がとがる。



24. リュウキュウマツ (40%)



25. ナギ (100%)
広葉に見えるが、じつは針葉。葉はあつかつやがある。



えだのアップ



葉のアップ

これで一つの葉



27. デイゴ (40%)
大きく、葉身が3つに分かれている。



28. アカギ (40%)
葉身が3つに分かれている。小葉の先はとがっている。



30. キンナム (100%)
小葉は羽のような形で、ぐう数まいついている。小葉は小さい。



29. ハゼノキ (40%)
小葉は羽のような形で、き数まいついている。小葉の先はとがっている。